



はい!よろこび!!

2020. February vol. 54 今治市倫理法人会 会報紙
愛媛県今治市倫理法人会 (事務局) 〒793-0003 愛媛県西条市
西ひうち 6-12 TEL 0897-56-1930 FAX 0897-56-1986

◀「親睦を大いに深めましょう。夫婦の溝はそれ以上深めないように!」

Topics & Special Edition



バスツアーで平和記念公園に!

世界遺産 原爆ドームをバックに広島平和記念公園にて、家庭以外は年中平和な一行。「はい、ピース!」(散策中のカメラ女子に撮ってもらいました)

2019年12月15日(日)恒例の今治市倫理法人会 親睦バスツアーが開催されました。今回のツアーは「広島平和記念資料館・マリホ水族館とカキ小屋」。

7:00に今治駅を出発後、森本会長が「大勢の参加、ありがとうございます。大いに親睦を深めてください」とあいさつ。続いて安永副会長の乾杯の音頭で、車内の温度も会員の体温も血糖値も一気に上昇。満を持して美藤会員が登場し、クイズと軽妙なトークで車内を盛り上げました。まずは魚編の漢字クイズ。「鯖」「鮒」「鰯」「鱈」で小手試しの後に「鮠」「鱈」「鱈」が出題されると車内は静まり返りました。ただ一人何を出しても「くじら!」を連呼する女子小学生が。正解してもなくても、ポテチやポッキー、ビスケットなどの景品が車内を舞いました(クイズいらんじゃん)。

一行は最初の目的地「マリホ水族館」へ。ジンベイザメやエイが悠々と泳ぐ巨大水槽に子どもたちは大興奮!も束の間、あつとい

う間に出口へ。マリホと言うよりこんなのアリホ?気を取り直して、お目当ての昼食「ミルクィ鉄男のカキ小屋」へ。一人カキ17個の90分17個勝負。片手にカキ、片手にヘラ、時々カキ飯。ハビハビと焼きたてのカキをひたすら食べる食べる。「もう無理!」とお腹をなでながら次の目的地「おりづるタワー」へ。と、入口に見知らぬおっさんが。「どっかで見たような...」。以前、今治市でご講話いただいた竹村茂さんでした。再会を喜ぶのも早々に自社のチョコケーキをPR。一通り館内を回っておみやげを購入。その後、メインの「広島平和記念資料館」へ。世界遺産の原爆ドームをバックに、記念撮影後、リニューアルされた資料館で静かに平和の尊さを学びました。帰路の車中は満腹・満足の平和の鐘ならぬイビキが響きました。18:30に今治駅到着。景品を両手に43名、皆笑顔、大満足のバスツアーでした。

おりづるタワーに竹村茂法人レクチャー(広島県倫理法人会)が



「ジンベイ〜、こっち!」知るか(ジンベイ)



無言でカキをかき込む会員。90分17個勝負!



ポーズをとる子どもを尻目に食べ続ける会員(右)



竹村さん(前列左から4人目)と再会を祝して

Topics & Special Edition

新年会 & 丸山理事長 役職者研修

豪華?景品の抽選会で盛り上がった新年会

中郷農園提供のミニトマトをゲットして満面の笑みの岡田会員



1月14日(火)、ナイトセミナー終了後、19:30より「はな亭」にて新年会が開催されました。講師の川西弘城法人レクチャーにもご参加いただき、賑々しい祝いの会となりました。

森本会長の「年の初めに存分に懇親を深めていただき、楽しい仲間を増やしてください」とのあいさつに続いて、安永副会長の乾杯で宴がスタートし、中谷由香理さんによる独唱が披露されました。歌に耳を傾けつつ、会員同士、雅趣あふれる料理に舌鼓を打ちながら祝杯を重ね、親睦を深めました。

続いて恒例の、会員が持ち寄った豪華?余り物?景品による抽選会が行われました。今治ホンダからは新車が!(ミニカー)、重松建設からは一戸建てが!(ダンボールの犬小屋)、中郷農園

からはミニトマトが!(本物)、芋菓子、日本酒、時計など次々と抽選が行われ、その度に「当たった!」「惜しい!」の歓声と落胆の声があちこちであがりました。犬小屋が当たって大喜びの女の子(写真参照)は「今日、このお家で寝る!」「やめとき」と母親。川西法人レクチャーもゲット。ほとんどの参加者が景品を手にして満面の笑みでした。その後、会場は賀詞交換会の場になり、あちこちで笑顔が咲いていました。美酒を酌み交わしつつ、名残り尽きない夜は更けていきました。宴もたけなわとなり、締めくくりに光藤相談役の「上げ潮じゃあ!」3本締め。腰をおろしてせり上がり両手を伸ばすのですが、酔いか年かふらつく者続出。満員御礼となった新年会は54名の参加がありました。



安永副会長の「乾杯!」で宴がスタート



重松建設提供の犬小屋が当たり大喜び



田辺さん、鼻に突っ込んでない?



光藤相談役による「上げ潮じゃあ!」3本締め

丸山敏秋理事長 役職者研修 『超少子高齢多死ノロ社会』

1月20日(月)18:00~20:00、ウェルピア伊予にて丸山敏秋理事長をお迎えして役職者研修が行われました。冒頭、松尾桂島会長が「少なくとも3年は会長をするつもりなので、がまんしてください。今年度は中西前会長の流れを継いで、2年目はやりたいことをやらせていただいて、3年目は引き継ぎの年にしたい。倫理法人会は7万社体制確立最後の年、愛媛県は2000社に向けてゆるぎない体制を築きたい」とあいさつされました。続いて丸山理事長による役職者研修が行われました。

「グレゴリオ暦では20日を過ぎたが、中国では旧正月・春節(1月24日~30日)で大型連休になる。その中国で新型肺炎が広がっている。アメリカとイランとの関係、世界の動き、日本の状況など予測は難しいが見通しを持たないといけない。有名な経営者が風とともに去りぬ(笑)。キーワードは「渾沌」。こんは「渾」「混」があるが本来は「渾」。30年前は世の中はシンプルだったので予測はできたが、今は急激に同時進行でさまざまなことが起こるので予測できない時代になった。顕著になったのが2016年頃。イギリスがEUから離脱を宣言して、国が割れた。アメリカではなるはずのない人が大統領になった。9割9分女性が勝つと言われていた。250年前、イギリスで産業革命が起こった。ジェームズ・ワットが蒸気機関を改良して、みんなワット驚いた(笑)。ワットはグラスゴー大学出身で、彼に力を貸したのが同大学の教授で経済学者のadam・スミス。近代文明と経済が結びついてパワフルになったのが新大陸・アメリカ。誰も予想しなかった」

「当面の日本の課題は『超少子高齢多死ノロ社会』。人口が

減ることは問題ではなく、急激に減ることが問題。昭和の終わりからわかってきたが、政策はすべて失敗。出生率は2.07ないと人口は維持できない。2019年は1.42。今後、人口がガーンと減る。なぜ失敗したか?原因はあきらか。福祉政策で手当を多くしたり、施設を増やしたりしたがダメだった。「出産は大変」「育児はめんどう」「家族はお金がかかる」など呪いの言葉が社会をおおってしまった。草食系男子も増えた。ここにいる皆さんは少子化に対応するのは無理だと思う(笑)。超高齢対策をしてください。誰が世話をするか。人も足りない。車イスはあるが押す人がいない。私も昨年、高齢者の仲間入りをした。もう美しい女性によるめかなくなったが、靴下をはくときによろめく(笑)。できる限り自分のことは自分です。人の世話にならず、パッとあの世へ行く。倫理をやっている人は「即行即死」(笑)。

「健康はシンプルに3つ。体は何が嫌いか?カゼは万病のもとと言うが、このカゼは吹く風のこと。冷えが病気のもと。ガン細胞も体温を2・3度上げるだけで死滅する。温泉も1時間位入ってください。あとは食べ過ぎないことと適度な運動。以上、健康講座でした(笑)。

「大規模災害は日本の宿命。大地震がいつ起こるか、まったくわからない。昨年『大地震は予知できないことがわかった』と日本地震学会が自信を持って発表した(笑)。自分の命は自分で守るしかない。1週間分の食料、水の備蓄を、少なくとも3日分の備えをしておいてください。」

(つづく)
役員研修は71名の参加がありました。



「3年間、会長をやります」と松尾島会長



理事長のユーモアに会場は笑いに包まれました

ユーモアたっぷりに研修を行う丸山理事長

